

平成29年7月1日

本荘高校同窓会報

秋田県立本荘高等学校 校長 今井 智幸

未来を拓き、社会を担う人材育成のために

同窓会会員の皆様には、日頃から本校の教育活動に特段の御協力、御支援を賜り心からお礼申し上げます。今年度、本校同窓会は発足百十周年を迎え、記念行事が開催される運びとなりました。会員の皆様には、心からお祝いとお喜びを申し上げます。

1907年（明治40）三月、第一期生41名が母校を巣立って以来、既に卒業生は2万8千人を超える数となっています。第一回卒業式が挙行された年の八月、本荘中学校同窓会が早々に発足しました。県内最古の同窓会の誕生には、「玲瓏同氣」の源流を見ることが出来ます。また、東京同窓会をはじめとする各支部の存在は、卒業生の様々な分野や県内外での御活躍の証であり、在校生にとって大きな励みとなっています。

子どもたちは、人工知能が人類を越えるシンギュラリティやグローバル化の進展に象徴される激動の時代を生きていくこととなります。秋田県は既に人口百万人を割り、昨年の人口動態統計で出生率3年連続全国最下位でした。

今、自己の未来やふるさと秋田・二十一世という未来を切り拓き、社会に貢献できる人材の育成が求められています。生徒一人一人が、変化の激しいこれからの時代に主体的に向き合い、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となることのできるよう、日々、職員一同心を一つにして教育活動に励んでおります。

今後とも、同窓会、PTA等の学校関係者をはじめ、地域社会とも連携を深めながら本校の教育活動の一層の充実に努めていく所存です。これまでと変わらぬ母校への御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。